

特集

「中学校用教科書内容解説資料」  
新しい『中学生の音楽』  
『中学生の器楽』のご紹介

1年 表紙テーマ：音楽との出会い



2年 表紙テーマ：音楽をつくる、鑑賞する



3年 表紙テーマ：歌う、合唱する



器楽 表紙テーマ：奏でる、合奏する

表紙装画：新井陽次郎

令和7年度から中学校用教科書『中学生の音楽』『中学生の器楽』が改訂されます。教育芸術社では、音楽科の果たす役割を考えながら、学校教育における今日的な課題にも対応した、新しい時代にふさわしい教科書を目指して編集してまいりました。



- 中学生の音楽
  - 改訂のポイント ① 学びたくなる
  - 改訂のポイント ② 学びが分かる
  - 改訂のポイント ③ 学びが深まる
- デジタルコンテンツ・新曲紹介
- 中学生の器楽(改訂のポイント①～③)

表紙のイラストは続き絵になっています。  
3年間の学習がつながり、深まるようお願いを込めたものです。

# 中学生の音楽

改訂のポイント

1

## 学びたくなる

人と音楽、社会と音楽との様々な関わりを知ることで、生徒が主体的に学びたくなります。

### 自ら考える力を引き出します

巻頭ページでは、各界で活躍するかたから中学生へのメッセージとして、音楽や芸術とご自身との関わりについて語っていただきました。自ら考える力を引き出し、学びに向かう力や「音楽的な見方・考え方」の育成を後押しします。



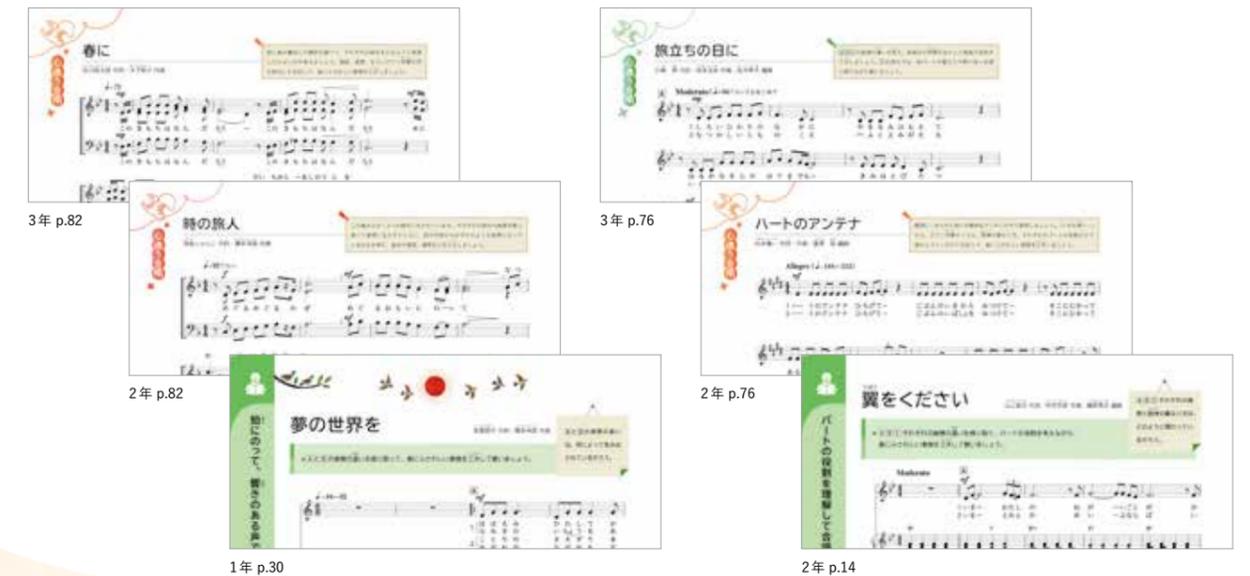
つくりあげる  
喜び

二次元コードから、メッセージ動画にアクセスすることができます。中学生へのメッセージをご覧ください。

1年 p.2  
俳優・歌手：上白石萌音

### 学校現場からの支持が厚い歌唱教材

新しい教科書でも、これまで厚い支持を得ている数々の歌唱教材を引き続き掲載しています。



# 中学生の音楽

改訂のポイント

2

## 学びが分かる

何を学ぶのか、どのように学ぶのか、何を考えるのかを明確に示すことで、学びが分かります。

### 音楽科で身に付けられる資質・能力が一目で分かります

目次に続くページに、学習指導要領に示された三つの資質・能力と、それに対応する学習内容や教材を示した「学びの地図」となる内容を配置し、この教科書を通して身に付けられる学力が一目で分かるようにしました。

分かりやすい紙面構成で、確実な学びを実現します

1年 p.24

#### NEW 楽曲の紹介文

どのような曲なのかを簡潔に示すことで、生徒が見通しをもち、主体的に学習に取り組むことができます。  
※共通教材と鑑賞教材に示しています。

#### NEW 考えたいポイント

「問いかけ」をすることで、生徒が課題意識をもち、主体的に学習に取り組むことができます。さらに、「見方・考え方」を働かせることで深い学びにもつながります。

1年間で学習する  
内容が分かる  
「学びの地図」



## 三つの柱 資質・能力の

生徒にとっては、各教材を通して自分がどのような音楽の力を身に付けられるのかを確認する際の参考に、指導者にとっては、1年間の学習指導計画を立てる際の、また評価規準を考える際の参考にすることができます。

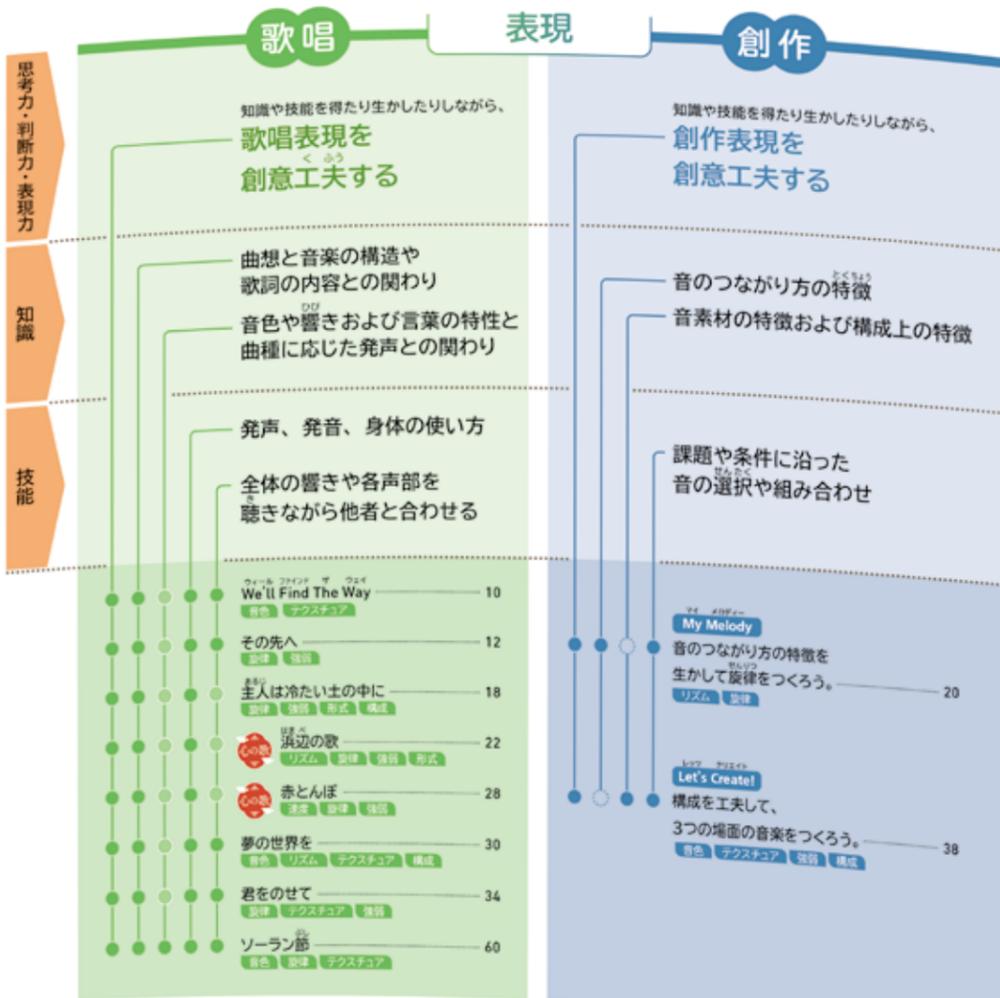
## 「中学生の音楽1」の学習内容

このページでは、皆さんが音楽科で

学習する内容を示しています。

学びに向かう力、人間性等

### 音楽によって生活を明るく豊かなものにしよう



それぞれの教材で  
どのようなことを学習  
するのか、確認するこ  
とができます。



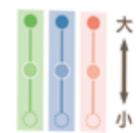
#### 音楽を形づくっている要素 (p.92)

- 音色** 声や楽器の音色、身の回りの音など
- リズム** 拍や拍子、さまざまなリズムパターンとその反復や変化など
- 速度** ふさわしい速度の設定や速度の変化など
- 旋律** 音のつながり方、フレーズ、旋律のもととなる音階や調など
- テクスチャ** 和音やハーモニー、音や旋律の重なり方など
- 強弱** ふさわしい音量の設定や音量の変化など
- 形式** 音楽のさまざまな形式など
- 構成** 反復、変化、対照など

各教材に示した「音楽を形づくっている要素」は、本書の学習内容に即したものにしていますが、授業に合わせて適宜増減して扱うことができます。

#### 教材と学習内容との関連

ここでは、各教材で扱うことのできる学習内容を全て示し、その関連度の大小を、下のように色の濃さで表しています。実際の授業においては、教材のねらいに応じて、適宜学習内容を選ぶことができます。



〔共通事項〕に示されている  
「音楽を形づくっている要素」



# 中学生の音楽

改訂のポイント

3

## 学びが深まる

主体的・対話的で深い学びを実現する「学びのコンパス」で、生徒の学びがより深まります。

### 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた手立てを示しました

教科書の手順に沿って学習を進めることで、主体的・対話的で深い学びを実現することができます。また、ワークシートを使うことで、生徒が自分の考えを整理しながら学習を進めることができます。

## 歌唱

NEW

新設の「学びのコンパス」で、**主体的・対話的で深い学び**を実現します（歌唱7教材）。

二次元コードからワークシートをダウンロードすることができます。

### 主体的な学び

学びの手立てを示すことにより、見通しをもって学習に取り組むことができます。



### 対話的な学び

生徒どうしや指導者との対話を促すことで、自己の考えを広げたり深めたりすることができるようにしました。

### 深い学び

「見方・考え方」を働かせて深い学びを実現するための手立てを適宜示しています。

### 学びのコンパス

## 旋律の特徴や曲の構成を捉えよう

1 楽譜を見たり歌ったりしながら、「主人は冷たい土の中に」の各段の旋律の特徴や強弱などがどのように変わっているかを確かめ、下の表に書きましょう。

1 楽譜	旋律の特徴 (リズムや音の上がり下がり)	強弱	終わりの音の形	旋律の雰囲気 この曲のように長調の場合、旋律は、ドで終わると終わる感じ、ド以外の音で終わると続く感じになります。
1 楽譜	途中で音が跳躍して音の高さが大きく変化する部分がある	mp	レ	続く感じ
2 楽譜				
3 楽譜				
4 楽譜				

2～4 楽譜については、1 楽譜と比べて同じところ、または違うところを書こう。

2 ①で書いたことをもとに、この曲の旋律の特徴や曲の構成がどのように変わっているか、グループで話し合おう。

3 ②で話し合ったことを踏まえながら、どのように歌いたいかを考え、表現の仕方を工夫しよう。

3 楽譜は、旋律の特徴が他の段とは異なっているので、気持ちが伝わるようにのびやかに歌いたい。そのため、にはどんな工夫をすればいいかな。

おなかの支えをしっかりと保ちながら、息の流れが喉のように伸びていくイメージで声を出すと、のびやかに歌うことができるよ。

4 4 楽譜には ♪ が付いています。♪ を付けて歌うことによって、どのような感じになりますか。♪ の付いた音をどのように伸ばすとよいか、また、♪ の後は、強弱や速度をどのように工夫して歌えばよいか考え、いろいろな表現を試してみましょう。

アンダンテ Andante p.97

フェルマータ Fermata p.97

パート別ワークシート

SAMPLE

19

## 各領域、分野の教材の内容を工夫し、より学びやすくしました

学校現場からのご意見やご要望を踏まえて、確実に学習目標に迫ることができるよう、内容をブラッシュアップしました。

## 創作

ICTの活用

思いや意図をもって創作に取り組めるように、キャラクターの吹き出しや設問の内容に配慮しました。

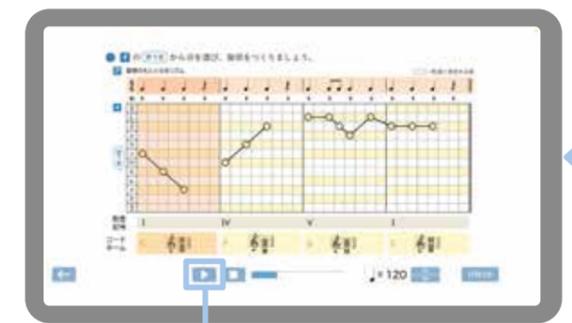


つくった旋律を簡単に再生することができます。自分の思いや意図が反映されているかを確認したり、作品を共有したりする際にも活用できます。

創作の学習を無理なく効果的に進められるように、二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツを充実させました。個別最適な学びや協働的な学びの実現をサポートします。

1年 p.20

デジタルコンテンツは、教科書紙面と同じ体裁になっています。



生涯にわたり音楽文化に親しむきっかけとなるよう、総合芸術であるオペラや歌舞伎の流れを受けて、中学生に比較的なじみのあるミュージカルについて新たに掲載しました。

2年 p.52

## 鑑賞

音楽の多様性を理解する

個々の音楽の特徴を捉え、さらに複数の音楽を比較したり関連付けたりするなどして、それぞれの音楽の共通性や固有性を理解できるように工夫しました。

2年 p.61

# 中学生の音楽

## 我が国や郷土の音楽文化を尊重する態度を育みます

自国の文化に対する誇りをもつことができるよう、我が国の様々な伝統音楽や伝統芸能を取り上げたり、生徒が興味・関心をもって自分の住む地域の文化に親しむことができるよう、各地に伝わる民謡をはじめ、祭りや芸能を取り上げたりしました。



## 見通しと振り返りによって主体的な学びを実現します

1年間の学習を見通したり振り返ったりする場面を設けることで、生徒が主体的に学びに向かい、学習を深めることができるように配慮しました。

「学びの地図」で学習の見通しをもつ



1年 p.8

1年間の学びを振り返る(身に付いた力でプレゼンする)



1年 p.91

各教材の学習

## 音楽の学習を通して社会とつながります

音や音楽が、生活や社会、文化とどのように関わり、どのような意味や価値をもつのかといったことに生徒が意識を向けることができるようなページを設けました。

生活や社会の中の音や音楽



3年 p.66

学年に応じたテーマ(1年「音や音楽の果たす役割」、2年「人と人をつなぐ音楽」、3年「仕事と音楽」)を基に、音や音楽と、生活や社会、文化との関わりについて、段階的に視野を広げて考えられるよう工夫しました。

3年生では音楽とSDGs(持続可能な開発目標)との関わりを紹介しています。

## デジタルコンテンツ

### 豊富なデジタルコンテンツで、授業や個別最適な学びを支えます

ICTを活用した授業を行えるよう、二次元コードには学習に役立つ様々なデジタルコンテンツをご用意しました。

歌唱共通教材の演奏と風景動画

350点を超えるコンテンツ!

スムーズな学習をサポートする創作ツール

再生部分が一目で分かります

鑑賞曲の譜例を再生

※画面は開発中のものです。

## 新曲紹介

中学生への思いを託した新作の一部をご紹介します。

### 天球図

覚 和歌子 作詞/森山至貴 作曲

1年 p.80 混声二部

自分自身を見つめ、そして認めることの大切さをうたった歌詞と、温もり溢れる優しい雰囲気の旋律を味わいながら歌いたい作品。



覚 和歌子さん 森山至貴さん

### 14 - fourteen -

弓削田健介 作詞・作曲

2年 p.87 混声三部

多感な時期である14歳の子どもたちが抱く複雑な思いがドラマティックなピアノに誘われ、壮大なスケールで歌われる。「立志式」などの校内行事にもふさわしい一曲。



弓削田健介さん

### タイムリーパー

覚 和歌子 作詞/三宅悠太 作曲

3年 p.78 混声三部

アニメの主題歌のような世界観をもつ歌詞と、それに心揺さぶられた三宅氏の躍動感溢れる旋律との相乗効果を体験できる作品。



覚 和歌子さん 三宅悠太さん

### Bodipa Beats Z

石若 駿 作曲

3年 p.86 ボディーパーカッション

手拍子、もも打ち、足踏みによる軽快なリズムに、演奏者はもちろん、聴いている人も一緒に楽しく盛り上がる。模範演奏の動画も活用しながらチャレンジしたい一曲。



石若 駿さん

各曲の演奏動画はこちら

<https://www.youtube.com/playlist?list=PL1j0y1aqdKQD1S7ga0V5EbBejLNfZVodm>



# 中学生の器楽

## 改訂のポイント

1

### 器楽の学習に向かう意欲を引き出します

『中学生の器楽』も『中学生の音楽』（音楽一般）と同様、学びに向かう力や「音楽的な見方・考え方」の育成を後押しし、幅広い価値観を養うことができるように内容を工夫しています。



器楽 p.2  
打楽器奏者、ドラマー：石若 駿

自ら考える力を引き出します

楽器と人

きっかけと情熱

### 様々な角度から音楽を捉える 「音楽って何だろう？」

器楽 p.4  
音楽・文芸批評家：小沼純一



## 改訂のポイント

2

### 音楽科で身に付けられる資質・能力が一目で分かります

目次に続くページに、学習指導要領に示された三つの資質・能力と、それに対応する学習内容や教材を示した「学びの地図」となる内容を配置し、この教科書を通して身に付けられる学力が一目で分かるようにしました。

器楽の  
学習が  
見通せる

三つの柱  
資質・能力の

生徒にとっては、各教材を通して自分がどのような音楽の力を身に付けられるのかを確認する際の参考に、指導者にとっては、学習指導計画を立てる際の、また評価規準を考える際の参考にすることができます。



器楽 p.8

## 改訂のポイント

3

### 生徒の興味・関心を広げます

生徒の多様な興味・関心を引き出し、好奇心に働きかけるような内容を取り上げています。



器楽 p.68

器楽 p.70

バンド  
スコア

他ジャンルとの  
コラボレーション

## 全ての人にとっての 使いやすさを目指して

### UDフォントの使用

UDフォントを大部分に使用しています。タイトルや文章だけでなく、楽譜中の歌詞にも使うことで、可読性、可視性が高まり、より学習しやすくなりました。



1年 p.24

### 特別支援教育の視点に立った配慮

歌詞や文章を写真中に入れるときには、無地の部分に配置したり白文字を使用したりすることで、誰もが読みやすい紙面を目指しました。全体にレイアウトや囲みの形を工夫し、視認性の高い紙面構成としました。



3年 p.10

教科書の内容解説動画はこちら

<https://www.kyogei.co.jp/textbook/jh/jh-r7>

